

さくらネット新聞



発行日：2016年11月30日 発行：NPO法人さくらネット

子ども防災 実施報告 その1

◆防災学習@滋賀県彦根市立稲枝西小学校（11/18）

今回は、滋賀県彦根市の稲枝西小学校の5年生を対象に、防災学習が実施されました。滋賀県は、近年大きな地震災害は発生していませんが、琵琶湖を囲むように断層がいくつもあります。「今しなければいけないこと、今できること」をテーマに、約2時間お話とワークショップの防災学習を実施しました。

《防災学習プログラム（例）》

◆災害後の被害を知る

- ・阪神・淡路大震災震災当時の写真の中から、「気になるもの」「じっくり見たいもの」をグループで話し合い、選びます。
- ・選んだ写真を見て、「わかること」「イメージできること」を付せんに各自で書きます。
- ・付せんに書いたものを、グループ内で共有します
-「家が壊れている」、「ものが落ちて」、「電線が散らばっている」

◆部屋の安心・安全のためにできることを考える

- ・家の中の被害の写真(家具が倒れたり、モノが落ちたりしているもの)を見て、危険な状況を少しでも安心・安全にできるように、災害前にできることを話し合います。
- ・話し合った意見を全体に発表します
-「家具の固定をする」、「重いものは上に置かない」、「部屋の中を整理整頓する」

最後に、「今話し合ったことは、お家でできていますか？」と尋ねると、ほとんどの子どもの答えは「NO」です。災害時の被害を知ること、安全・安心に向けて自分にできることを考えることは、防災の第一歩です。命を守る子どもを増やすために、「知る・考える・行動する」きっかけとなるよう、防災教育で応援を続けたいと思います。
(防災・減災教育推進部門 河田のどか)



子ども防災 実施報告 その2

11/4・5、岩手県大槌町の吉里吉里学園・中学部で、全校生徒が対象の、「防災と生き方学習プログラム」の防災授業（お話とフリートーク）を2日間実施しました。今の中学生は、東日本大震災のとき、小学1.2.3年生です。

私は、阪神・淡路大震災のとき、小学1年生でした。災害は違いますが、同じ年代で、それぞれが大きな災害を体験しています。震災の話や防災を続ける葛藤、防災教育に取り組む理由を話し、中学生からは、吉里吉里の自慢や好きなどを教えてもらいました。詳しくはfacebookをご覧ください。

ぼうさい甲子園

平成28年度のぼうさい甲子園受賞校の発表は12月中旬を予定しています。来年1月には、兵庫県公館で表彰式・発表会が開催予定です。

* 昨年度の表彰式・発表会の様子はYoutubeでご覧いただけます。

* 毎年、受賞校・応募校の取組みをまとめた“記録誌”を発行しています。昨年度までの記録誌のお申込みはHPから可能です→



お知らせ

◆熊本地震子ども支援◆

プロジェクト実施にあたり、引き続き募金活動を実施しております。みなさまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。詳しくはHPをご覧ください。

◆熊本地震支援の予定◆

- ・12/1 益城中央小学校 研修
- ・12/8 阿蘇郡内 研修
- ・12/9 滝尾小学校 研修
- ・12/10 御船町内 研修

熊本地震 子ども支援

熊本地震から7ヶ月が経ちました。『平成28年熊本地震“あそ冒！まな望！防災プロジェクト”』では、4月以降、熊本県内の3町村・6つの小中学校に、学校再開の物品支援を実施しました。

現在は、3つの小中学校を中心に、心のケア・防災教育のプログラムを実施しています。11月は12月のプログラムの打合せのため、益城町、御船町、阿蘇市の小中学校を訪問しました。心のケアと防災教育は、子どもだけでなく、子どもたちの1番身近な大人の方々にも知っていただくことが大切です。引き続き、プロジェクトを通して応援します。

学校・学童再開の物品支援一覧

益城町立木山中学校
益城町立益城中央小学校
南阿蘇村立南阿蘇中学校
御船町立七瀬中央小学校
御船町立滝尾小学校
御船町立高木小学校

熊本市
上益城郡
阿蘇郡

連絡先
〒663-8201
西宮市田代町16-8
パルティールN棟 西号室
0798-64-5829
<http://npo-sakura.net/>

